

楷の木



学校の様子は、ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

東出雲中学校

人権集会を開催しました

12月4日～10日は「人権週間」です。東出雲中学校では、この人権週間に合わせ14日(木)の1時間目に『人権集会』を開催しました。本年度は、生徒会の一年間の活動(生徒会行事や常時活動)を振り返り、全校生徒が人権について考える時間としました。生徒会執行部がパネラーとなり、体育祭や合唱コンクールへの取り組み、あいさつ運動について意見や考えを発表するとともに、フロアにいる生徒からの自由意見、先生方にも意見も求めながら集会は進みました。

特に『あいさつ』については、執行部による劇を見ながら、普段の自分たちのふるまいを振り返りました。全校のみなさんが気持ちよく、安心して生活するために必要なあいさつは、一人ひとりが相手のことを大切に思うことであり、自他を尊重する心につながっていることなどを改めて確認し、全校生徒が真剣に自分事として考える機会となりました。そして、全校生徒・教職員が本年度の頑張りを記した花の絵を集めて作った絵画を披露し、執行部全員による歌唱を発表した後、生徒会長の閉会あいさつによる「まとめ」を行いました。

人権について生徒会活動や日常活動を通して振り返り、自分たちが今後どのような態度や意識をもって生活していくことが大切なのかを考える大変良い集会となりました。



新生徒会役員が決定

11月29日(水)に新生徒会役員選挙に係る立会演説会が体育館で行われました。投票の結果、下記のとおり新しい生徒会役員が決定しました。立会演説会では、会長、副会長に立候補した3名が推薦人とともにステージに上がり、立候補を決意した思い、生徒会活動を通して東出雲中学校をどんな学校にしていきたいのかなど、全校生徒に自分の考えを自分の言葉で堂々と述べていました。3年生から生徒会のバトンを引き継ぎ、今度は2年生が中心となって生徒会活動を進めていきます。これまで以上に、生徒一人ひとりが輝き、安心して学び合えることができる東出雲中学校づくりに全力で取り組んでくれることを期待しています。

【 新生徒会役員 】

- 生徒会 会長 2年生 北村有輝斗さん
- 〃 副会長 2年生 石原 光恭さん
- 〃 副会長 2年生 得能 風香さん



東出雲中生が地域行事で大活躍

10月の公民館文化祭に続き、12月2日(土)には、第11回東出雲いきいきフェスティバルが開催され、本校のボランティア部と吹奏楽部の生徒が出演しました。吹奏楽部は、ステージ発表のオープニングを務め、今月23日(土)に大田市で行われる県アンサンブルコンテスト出場者が代表演奏を披露するとともに、その後は全員による合奏を披露しました。また、ボランティア部の生徒は、隠岐しげさ節の皿おどりや銭太鼓の演舞を披露しました。司会の方からのインタビューにも、生徒のみなさんがしっかりと受け答えし、堂々と説明や発表をしていて感心しました。

授業での学びだけでなく、地域の行事活動に生徒が主体的に参加したり、地域の方との交流をしたりすることで、生徒は貴重な経験をさせていただいています。また、学校はたくさんの地域の方々に支えていただいていることを忘れてはなりません。今後も、地域の行事参加や地域の方々との交流を大切にし、様々な活動を通して多くの経験や学びが得られるよう、中学生の積極的な参加を進めていきたいと考えます。



全国学力調査の結果から

4月18日に3年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査の結果が返却され、校内でその分析を行いました。全学年において、強みをさらに伸ばすとともに、弱みの部分を改善し、生徒たちの学力向上につながるよう取り組んでいきたいと思ひます。学校で分析した結果(強みと弱み)は次の通りです。(本校研究部まとめ)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

	強み(○)・弱み(●)	対策(●)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○全体にわたり、正答率は概ね全国平均と同等である。 ○無回答率が低い。 ●意見と根拠など、情報と情報との関係を整理してとらえることに課題がある。 ●読み手の立場に立って、叙述の仕方などを適切に整えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●説明的文章において、原因と結果、意見と根拠など情報どうしの関係に留意させるよう、思考ツールなどワークシートの工夫をする。 ●単元ごとに書く活動を取り入れる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○どの領域も概ね県平均を上回っている。 ○無回答率が低く、自分の考えを説明する力も高い。 ●少し複雑な文章を式や図にする力に課題がある。 ●数学への関心が低い傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題文を読み取る活動をていねいに進めていく。 ●1、2年の既習事項の定着を図るよう、繰り返し指導する機会を作る。 ●数学への関心を高めるよう日常に生かされている例を話題にしていく。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○グラフを伴った短い文章や1文のみを読み取る問題は、県正答率に近い正答率である。 ●日常的な話題や事柄について、まとまった量の情報を聞き取ったり、読み取ったりすることに課題がある。 ●自分自身や相手のことについての対話の中で、流れをふまえて適切な発言を考えたり、文章を書いたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●まとまった量の英文から概要をつかみ、必要な情報を正しく捉える力が身に付くよう、読解・リスニング活動で提示する文章の量を段階的に増やす。 ●他生徒やALTとのコミュニケーション活動の機会を充実させ、話すことと絡めてふさわしい文を書く活動を、継続して設ける。

(2) 生活意識調査から見られた傾向

	強み(○)・弱み(●)	対策(●)
	<ul style="list-style-type: none"> ○学年での集団作りの活動を計画的に行った結果、達成感が得られ、自己肯定感が高い生徒が多い。教員との人間関係も良い。 ○キャリア教育により社会で人の役に立ちたいという意識が高い。 ●調査時は地域での交流活動や行事等も制限があったため、地域への関心が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的な学習の時間において、地域の事業所で社会体験学習を実施したり、町内や松江市内で地域づくりに貢献している方にお話をさせていただいたりして、地域に対する理解を深め、自らの生き方を考える機会とする。

学習面での対策は、この3教科に限るだけではなく、今回の強みと弱みをしっかりと分析し、すべての教科につなげていく必要があります。授業では、自分の考えや思いをタブレット端末を使ってまとめ発表したり、小グループで積極的に意見交換をしながら課題解決を行ったりコミュニケーション活動をしたりして頑張っています。今後も、ワークシートの工夫や反復学習など、最適な学習活動を考え、工夫しながら取り組んでいきたいと思ひます。

また、生活意識調査では、地域への関心が低いことが課題となりました。調査時はコロナ禍でもあり、影響は少なからずあったと思ひますが、本校では総合的な学習の時間における取組を通して対策を進めています。3年生においては、3年ぶりに職場体験学習を実施しました。3日間の実習を通して働くことから学ぶ貴重な経験をすることができました。また、1年生は、11月に町内の事業所等を訪問しインタビューをする「地域訪問」を行いました。さらに、2年生は、1月に「まつえ『子ども夢☆未来』塾」を行い、地元で働く方々をプレゼンターとしてお招きし、お話を聞く予定です。今後も、保護者・地域の皆様のご協力を得ながら、学校全体で地域との交流や体験の場を増やしていきたいと思ひます。

「家族のきずな」エッセイ表彰式

11月19日(日)午後、ヨリアーナ会議室において、『家族のきずな』エッセイ表彰式が行われました。このエッセイコンテストは、毎年本校2年生を対象に開催され、今回は、松江市教育委員会 成相副教育長様、大多和聡宏開星高校理事長様、東出雲モラロジー事務所関係者様他、多くのご来賓の皆様にご臨席をいただき、盛大な表彰式を行っていただきました。この取り組みは、「家族のきずな」エッセイを書くことを通して、思いやりの心、感謝の心、そして自立の心の三つを育てたい心として、家族における自分、家族の温かさを再認識し、道徳心を高めることを目的としています。

表彰式を開催していただきました、東出雲モラロジー事務所及び関係者の皆様に深く感謝申し上げるとともに、生徒のみなさんがこのエッセイを通して気づき感じたことを今後の家庭生活や学校での生活にいかしてくれることを期待しています。

今年度の受賞者は次のとおりです。

- 最優秀賞作品(松江市長賞)『当たり前に気付いた日』吉田さん
- 優秀賞作品(松江市教育長賞)『不思議なパワー』中西さん
- 優秀賞作品(モラロジー道徳教育財団賞)『旅立ちと誕生』門脇さん
- 優秀賞作品(東出雲中学校長賞)『私の大嫌いな母親』牧野さん、『僕のおばあちゃん』波多野さん
- 入賞作品(東出雲モラロジー事務所賞) 山田さん、一之瀬さん、江隅さん、金織さん、秋山さん
- 入選作品 永島さん、南場さん、吉村さん、松井さん、栗原さん、齋藤さん、森脇さん、小室さん、鴨木さん、内田さん、近藤さん、村上さん、山根さん、村松さん、福井さん、佐々木さん、桑原さん、石原さん、福田さん、藍野さん。

